

1. 学校のトピックス

1.1 創基70周年・高専創立50周年記念事業

1.1.1 創基70周年・高専創立50周年記念式典を挙げる

創基70周年・高専創立50周年記念式典を平成25年1月26日にサンポートホール高松で挙行しました。式典には、多くの来賓の方々にご臨席を賜り、卒業生、在校生、教職員など合わせて約1300人に出席いただき、創基70周年・高専創立50周年を祝いました。

記念式典に先立ち、高松キャンパス吹奏楽部・詫間キャンパス吹奏楽部の合同演奏による校歌及び流行歌の演奏に併せて、本校の歩みのスライドショーが流され、来場された卒業生の方からは懐かしがる声が聞こえました。

記念式典では嘉門校長が「本校創基70周年・高専創立50周年記念事業は、両キャンパスの歴史と文化を記念した統合的行事として取り組んできたものであり、今後は香川高専としての新しい伝統を築いていきたい。」と式辞を述べられ、続いて文部科学大臣（山野審議官代読）、小畑国立高専機構理事長、浜田香川県知事からご祝辞をいただきました。

また、学生代表として高松キャンパス・詫間キャンパスの両学生会長が「輝かしい本校の高専ブランドを作ってこられた先輩方のために、これから入学してくる後輩のために、そして高専卒業という経歴を担う我々自身のために、我々は本校の高専ブランドを次の50年へと受け継いでいくことを宣言します。」と誓いの言葉を述べました。

式典に引き続き、2008年にノーベル物理学賞を受賞された名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構長の益川敏英先生を講師にお招きし、本校澤田教授との対話形式による「現代社会と科学」と題した記念講演会が開催されました。先生の幼少期からのご様子や、科学者としての物事への取り組み方などもご披露いただき、出席者からは活発な質疑応答も行われ、講演会は終始フレンドリーな雰囲気盛況に終わりました。

さらに講演後は、ホテルクレメント高松に会場を移し記念祝賀会を開催しました。祝賀会は約250名が参加し、嘉門校長の挨拶に続き、大西高松市長、横山三豊市長、新原長岡技術科学大学長、長尾香川大学長より祝辞が述べられ、終始和やかな雰囲気の中で盛大に行われました。

この記念式典は、卒業生、在学生及び教職員等がこの機会に本校の伝統ある歴史を再認識するとともに、香川高専としてさらなる飛躍を目指す大きな節目となりました。



図1 吹奏楽部による合同演奏



図2 式辞を述べる嘉門校長



図3 大臣祝辞を代読する山野大臣官房審議官



図4 祝辞を述べる小畑高専機構理事長



図5 祝辞を述べる浜田香川県知事



図6 誓いの言葉を述べる鈴木・安藤学生会長



図7 特別講演を行う益川先生



図8 祝賀会での鏡開き

1.1.2 香川高専70・50まつり

平成24年度の学生祭（皆楽祭・電波祭）は、創基70周年・高専創立50周年を記念し『香川高専70・50まつり』として、両キャンパスで同時開催しました。

1. 日時 平成24年11月3、4日（土、日）

2. 内容

- (1) 学生祭（皆楽祭・電波祭）
- (2) サイエンスフェスタ
（小中学生向けわくわく科学体験教室）
- (3) ホームカミングデー
（卒業生と学校、教職員および学生との交流）
- (4) 防災フェア
（防災機材展示、非常食の試食等）



図1 香川高専70・50まつり

1.1.3 サイエンスフェスタ 2012 in 香川高専高松キャンパスを開催

11月3日（土）4日（日）の二日間、高松キャンパス第二体育館において、「香川高専70・50まつり」の一つである「サイエンスフェスタ 2012 in 香川高専高松キャンパス ～見て・作って・おもしろ科学～」を開催しました。サイエンスフェスタ 2012 では、本校学生スタッフならびに本校教職員が科学をテーマにした18ブースを設置しました。なお、開催前日には、NHK高松放送局放送番組「ゆう6かがわ」の生中継があったため、2日間とも、小学生、中学生を始め保護者の方などたくさんの方々にお越しいただき、大盛況に終わりました。



図7 ゆう6かがわの生中継



図8 液体窒素で発見！！

1.1.4 ホームカミングデイを開催

11月3日(土)・4日(日)に学生祭と合わせてホームカミングデイを開催しました。高松キャンパスでは、卒業生と学校、教職員および学生との交流を深めることを目的として、今年度で4回目、詫間キャンパスでは、今回初めてホームカミングデイを実施しました。両キャンパスとも、県内外からたくさんの卒業生が来場されました。各学科の展示物や昔の卒業アルバム等が展示され、来場された卒業生は、当時を思い出されている様子でした。今後も卒業生と学校との連携を図っていきたいと考えております。



図1 ホームカミングデイ

1.1.5 第1回防災フェアを開催

毎年実施している学生祭の際に、「香川高専70・50まつり」の一環として、今年度初めて「防災フェア」を実施しました。香川県、高松市、三豊市にご後援頂き、防災用品、備蓄品やパンフレット等の資料をご提供頂きました。当日は、液状化実験等の展示、防災対策用品の展示、備蓄食品の試食などを実施しました。たくさんの地域住民の方たちをはじめ、学生、教職員にご来場頂き、防災に対する意識の向上が図れました。



図1 防災フェア

1.1.6 香川高専創基70周年・高専創立50周年記念事業寄附金目録贈呈式を挙

11月24日（土），詫間キャンパスで開催される植樹祭に先立ち，香川高専創基70周年・高専創立50周年記念事業寄附金目録贈呈式が行われました。このたび，香川高専の同窓会組織である高松工業会並びに七宝会から，70・50記念事業への趣意にご賛同いただき，多額のご寄附を賜ることとなり，目録贈呈式が行われることとなったものです。校長室での贈呈式には，高松工業会から住田会長，七宝会から金子会長が出席。嘉門校長に寄附金目録が手渡され，嘉門校長からは，「今後の香川高専の教育研究の充実に活用させていただきます。」と感謝の意が述べられました。この寄附金は，香川高専学生の学会発表等を支援するための基金となります。

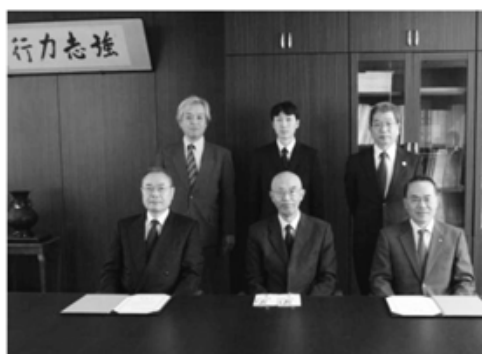


図1 贈呈式記念撮影

1.1.7 香川高専70・50記念植樹祭を開催

11月24日（土），香川高専創基70周年・高専創立50周年を記念して，詫間キャンパスでサクラ8本を記念植樹しました。当日は天候にも恵まれ，嘉門校長はじめ，金子七宝会（詫間高専同窓会）会長，住田高松工業会（高松高専同窓会）会長，学生代表，同窓生，教職員合わせて43名が出席しました。70・50記念事業「環境整備コンテスト」を基にした「詫間キャンパスのにぎわい広場」創設の第1号と位置付けています。老朽化した詫間キャンパス学生寮第1棟の取壊跡地でソメイヨシノ植樹を今回行いましたが，今後はさらに，自噴している湧水を利用したビオトープの整備，オープンカフェの設置などの周辺の整備を実施するように計画されています。



図1 校長挨拶



図2 ソメイヨシノ植樹



図3 記念撮影

1.1.8 卒業生がピッチングマシンを寄贈

12月25日(火)、詫間電波高等学校本科19期生(昭和43年卒)の藤本章氏から香川高等専門学校詫間キャンパス野球部にピッチングマシンが贈られました。藤本氏は11月24日(土)に詫間キャンパスで開催された香川高専創基70周年・高専創立50周年記念事業の植樹祭の際、約40年ぶりに母校を訪れ、後輩に何か役立つ物をという思いで、藤本氏が在学中野球部に所属していたこともあり、同記念としてこの度ピッチングマシンを寄贈されました。当日は校長はじめ、野球部員等出席の中、野球グラウンドで贈呈式が行われ、ピッチングマシンの披露とともに野球部主将が部員を代表し、技術向上に有効に活用し勝利をめざしたいと感謝の言葉を述べました。野球部員にとって、嬉しいクリスマスプレゼントとなりました。



図1 贈呈式



図2 記念撮影

1.1.9 創基70周年・高専創立50周年記念事業香川高専環境整備コンテスト

環境整備コンテストを実施し、11点の応募があり、その中から4点が佳作に選ばれました。なお、優秀賞はありませんでした。佳作の内容に基づき、下記のとおり環境整備を計画しました。平成24年度は、高松キャンパス校門の改修及び詫間キャンパス桜並木の整備を行いました。

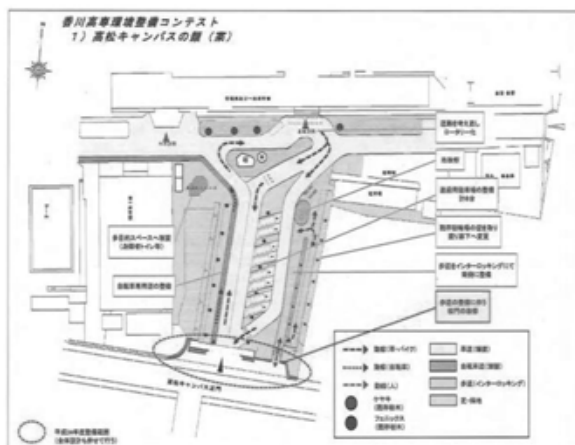


図1 高松キャンパスの顔整備計画

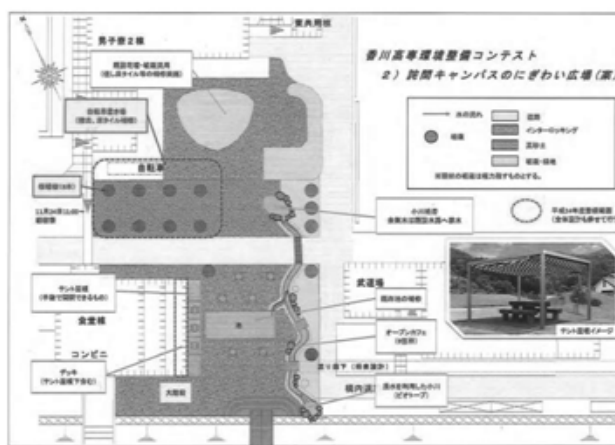


図2 詫間キャンパスのにぎわい広場整備計画

1.2 学生活動

1.2.1 全国高専体育大会バレーボール競技（男子）で優勝

8月25日（土）、26日（日）松江市で開催された第47回全国高等専門学校体育大会バレーボール競技において高松キャンパス・バレーボール部男子が優勝しました。初日の予選グループ戦では、鹿児島高専と前年度優勝校の松江高専に競り勝ち、予選を突破しました。2日目のトーナメント戦では、準決勝で同じ四国代表・高知高専に大接戦の末勝利し、決勝で前年度準優勝校の徳山高専を退け、初優勝を果たしました。

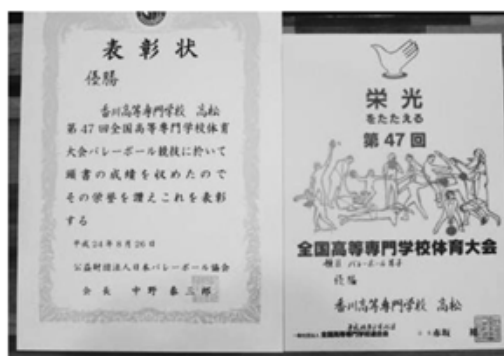


図1 表彰状



図2 集合写真

1.2.2 全国高専体育大会バスケットボール競技（男子）で準優勝

8月18日（土）、19日（日）鳥取市で開催された第47回全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技において、詫間キャンパス・バスケットボール部男子が準優勝しました。初日の予選リーグ戦では、久留米高専と鈴鹿高専に勝利し、予選を突破しました。2日目の決勝トーナメント戦では、準決勝で福島高専に勝利し、決勝で2年連続優勝の松江高専と戦い、延長戦を含んだ激戦の末、惜しくも敗れましたが準優勝の結果を残すことができました。



図1 表彰式



図2 集合写真

1.2.3 全国高等専門学校第23回プログラミングコンテスト自由部門で（最優秀賞、文部科学大臣賞、情報処理学会若手奨励賞及び企業賞）受賞

10月13日(土)、14日(日)に有明高専を主管校として、福岡県の大牟田文化会館で開催された、全国高等専門学校第23回プログラミングコンテスト自由部門において、詫間キャンパスのチームが最優秀賞、文部科学大臣賞、情報処理学会若手奨励賞を、高松キャンパスのチームが企業賞（ブロードリーフ特別賞）を受賞しました。今年度は、自由部門に全国の高等専門学校から58チームが参加し、予選を通過した20チームで本選が行われました。結果、詫間キャンパスは、平成20年度に初めて受賞して以来、通算4回目の最優秀賞、文部科学大臣賞を、高松キャンパスは、初めて企業賞を受賞しました。自由部門のタイトル「Top Balancer」で、詫間キャンパス情報工学科4年及び3年の学生5名と、同じく「てるてる一スカイ&フィールドリポーター」で、高松キャンパス電気情報工学科及び機械電子工学科の5年及び3年の学生5名が、指導教員の下、連日放課後遅くまで製作に取り組んだ結果の今回の受賞です。

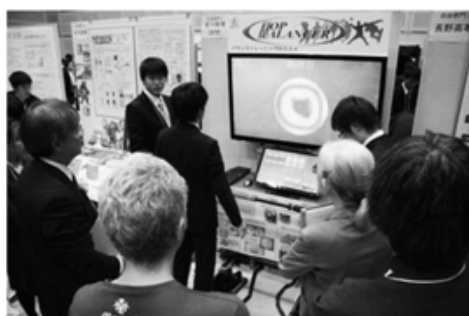


図1 デモンストレーション審査

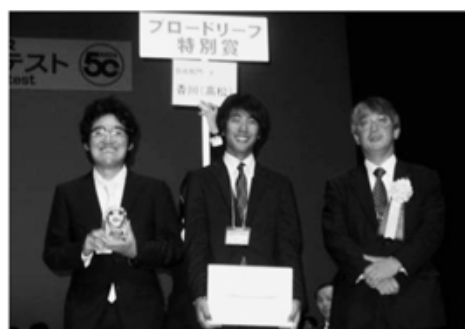


図2 表彰（閉会式にて）

1.2.4 第6回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストに出場

1月26日、27日国立オリンピック記念青少年総合センターにて、第6回全国英語プレゼンテーションコンテストが開催されました。香川高専からは、スピーチの部に電気情報工学科3年生の近藤英美さん、そしてプレゼンテーションの部に情報工学科5年生の上田隼也君、河坂竜磨君、瀬口竜大君が出場しました。両部門とも年々レベルが向上している中、プレゼンテーションの部門では惜しくも入賞を逃しましたが、スピーチ部門の近藤さんは二位の成績を納めると同時に日本国際連合協会会長賞を受賞しました。



図1 スピーチ部門



図2 プレゼンテーション部門

1.2.5 寮生活動

○4月6日（金）高松キャンパス及び詫間キャンパスの学生寮において、平成24年度入寮式を挙行了しました。新入寮生や寮生保護者に対し、寮務主事から寮生活の目的や寮生心得の説明の後、寮務関係教職員や寮生役員の紹介が行われました。新入寮生は、学生寮での生活に対する期待と不安の中、緊張した面持ちで新生活のスタートを切りました。

○10月13日（土）詫間キャンパスにおいて、香川高専寮生交流スポーツ大会を開催しました。この大会は、スポーツを通して両キャンパスの寮生同士の親睦を図ることを目的に実施したもので、ソフトボール、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボールの競技、自由参加競技としてバドミントン、ドッジボールと様々なスポーツを楽しみました。両キャンパス併せて約200名の寮生が競技に応援に奮闘し、また食事を共にしたことで寮生間の交流を深めることができました。なお、総合優勝は3年連続で詫間キャンパスが勝利を収めました。

○1月19日（土）高松キャンパス清雲寮において、少し早いですが卒業予定の5年生を送り出すために、1～4年生との最後の交流行事であるスポーツ大会を行いました。また、1・2年生が中心になってつくった餅入りの香川名物「あん餅ぞうに」を食べながら昼食会も行いました。



図1 卒業予定の5年生とサッカー



図2 1・2年生による餅つき

○2月19日（火）詫間キャンパス学生寮では、寮生役員が中心となって、5年生及び専攻科2年生の送別会を開催しました。夕食後、寮食堂に全寮生が集まり、七宝寮副寮長が司会進行を行い寮長が送別の挨拶をしました。卒業する前寮長からは、寮生活の思い出や後輩へ激励の挨拶があり、最後に5年生及び専攻科2年生は、後輩の拍手で見送られました。寝食を共にしてきた仲間への感謝や激励の意が伝わってくる和やかな送別会となりました。



図1 寮長からの挨拶



図2 花束贈呈

1.3 教育・研究活動

1.3.1 平成24年度中国・四国地区専攻科生研究交流会を開催

4月27日（金）、28日（土）の両日、高松テルサ（高松市）において、「平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会」を開催しました。本研究交流会は、中四国の13高専の専攻科生が集い、各校の実行委員による学生の自主運営により開催され、日頃の研究成果の発表を行う場です。二日間にわたる研究交流会には、400名以上の参加があり、口頭発表234件、ポスター発表65件が行われ、専攻科生同士がお互いの研究について活発な議論を交え、日頃の研究の成果を讃え合っていました。



図1 開催校校長挨拶



図2 研究発表

1.3.2 長岡技術科学大学と高専が協働する戦略的技術者育成アドバンストコース「技術科学フロンティア概論」を開講

8月27日（月）～31日（金）までの5日間、高松・詫間キャンパスにおいて、両キャンパスの学生11名が、「先端技術科学、求められるグローバルな人材とは、社会動向の把握の必要性」に関する演習を交えた講義に熱心に取り組みました。ジョンソンコントロールズ株式会社、川崎重工業株式会社、日本原子力研究開発機構、株式会社ミッタシステム、東京工業大学、長岡技術科学大学、香川高専両キャンパスの第一線のエンジニア、研究者が講師を務めました。参加した学生には、専攻外の分野も広く学べる貴重な機会となりました。



図1 アドバンストコース受講生

1.3.3 香川高専教育実践事例報告会を開催

12月4日（火），詫間キャンパス第2講義棟第4講義室において，香川高専FD活動の一環である「教育実践事例報告会」を開催しました。教職員約40名が参加し，香川高専の教育に携わる教職員による実践事例として，両キャンパスの一般教育科を含め，すべての学科より10件の報告があり，これらに対する活発な質疑応答が行われました。両キャンパスの教職員にとり，きわめて有意義なものとなりました。



図1 校長挨拶



図2 報告会

1.3.4 正修科技大の謝副教授による専攻科・英語専門授業を実施

1月7日～18日の2週間，学術交流協定を締結している台湾の正修科技大学から資訊工程系・謝隆斌准教授をお招きし，電子情報通信工学専攻1年の“情報ネットワーク論”において4回の英語による講義を行いました。英語専門授業では，専攻科学生の英語運用能力を磨き，将来海外で活躍できる実践的なエンジニアとしての能力を養うことを目的としています。講義では，実際の通信ネットワーク上を“パケット”と呼ばれる“情報”が往き来する様子を可視化できる専用のソフトウェアを用いて講義内容を実際に確認する大変実践的な手法が用いられ，参加した学生らは大変興味を持ち熱心に取り組んでいました。さらに，IOS開発環境を構築し教育へ応用した実績が，ノウハウや実践を交えて希望者に対して披露され終始実践的な質疑や議論が展開されました。ここでの講義はTV会議システムにより両キャンパスに相互配信され，多くの専攻科生や教職員が興味深く聴講しました。謝先生の部屋には学生や教員が絶えず面会に訪れ，講義や交流全体を通して大変実りのある来日となりました。



図1 遠隔講義



図2 講義終了後

1.3.5 第3回 橋の老朽化対策研究会を開催

3月6日(火)、市町村管理橋梁の老朽化問題に高専教員が協力して取り組む目的で設立された「橋の老朽化対策研究会」の第3回研究会が楽友会館(京都市)で開催されました。研究会には全国7高専から10名の教員が参加した他、長岡技術科学大学、土木研究所、国交省近畿地方整備局からも4名の参加があり、嘉門雅史会長(本校校長)の挨拶で始まりました。研究会は、橋の老朽化問題に対する行政面(国交省)と研究面(大学)からの講演と高専教員の活動紹介を中心に、活発な議論とともに進められ、本校からは建設環境工学科の太田教授が「市町村管理橋梁の老朽化対策」と題して香川県における活動を紹介しました。



図1 会長挨拶



図2 太田教授による活動紹介

1.3.6 ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ in 香川高専を開催

3月18、19日香川高専高松キャンパスにおいて、ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ in 香川高専を開催しました。阿南高専FD 高度化推進室から松本先生、川畑先生、清水先生をメンターとして派遣していただき、両キャンパスの教員6名がティーチング・ポートフォリオの作成を行いました。ティーチング・ポートフォリオとは、自らの教育活動について振り返り、自らの言葉で記し、多様なエビデンスによって記述を裏付けた「教育業績記録」のことであり、ティーチング・ポートフォリオを作成することにより、自らの教育改善に役立てることができるツールとなっています。



図1 ワークショップ参加者

1.4 産学連携・地域連携

1.4.1 香川高等専門学校産業技術振興会の主な活動

○「役員会」「総会」「交流会」を開催

9月12日(水)、リーガホテルゼスト高松において、役員会、総会、交流会を開催しました。役員会において議案承認後、総会を開催し、法人会員、個人会員及び本校教職員を含めて43名が参加し、平田会長(株式会社ヒューテック相談役)及び嘉門校長の挨拶の後、第3事業年度事業報告、会計報告及び第4事業年度事業計画、予算案の承認を受けました。総会に引き続き、会場を移して会員企業と教職員との交流会を開催し35名の参加者が有り懇談・交流がはかられました。



図1 役員会



図2 総会



図3 交流会

○会員企業見学会を開催

会員企業をより深く知り理解することを目的とし、本校教職員が会員企業を訪問し、会社概要の説明、工場見学などを行いました。

3月22日(金) 見学先: YKK AP(株)四国事業所(綾歌郡宇多津町吉田 4000)

○先進地見学を開催

地域産業の発展と高専教育研究振興の参考とするため、地域産業と高専の連携事例を見学しました。

8月30日(木) 見学先: MOBIO ものづくりビジネスセンター大阪

(東大阪市荒本北1丁目4番17号(クリエイション・コア東大阪内))

○講演会を開催

6月11日(月)

演題「ものづくり企業を活性化する4つの秘訣～「ネジザウルスGT」の開発から得られたMPDP」

講師: 高崎 充弘 氏 (株)エンジニア 代表取締役社長

演題「地域企業との連携・競争的研究資金を活用したKOSEN 発エコソリューション創成の取り組み」

講師: 袋布 昌幹 氏 富山高等専門学校 専攻科 准教授

○イブニングセミナーを開催

本校教職員と会員企業との産学連携の機会の場合として、シーズ・ニーズを含めた情報交換会を開催しました。

・機械系: 7月18日(水), 9月19日(水), 11月21日(水), 1月23日(水)

・情報通信系: 10月28日(日), 2月23日(土)

・建設系: 7月20日(金), 11月16日(金)

○学生対象の講演会を開催

香川高専産業技術振興会主催の学生を対象とした講演会を開催し、平田会長が講師を務めました。

11月14日(水) 演題「人生成功の秘訣」 対象: 詫間キャンパス5年生

1月17日(木) 演題「生き方」 対象: 高松キャンパス3年生

1.4.2 産学官連携推進会議を開催

香川県、三豊市及び香川銀行との連携協定に基づき、次の会議を開催しました。

① 三豊市・香川高専連携協力推進会議

5月15日（火）、三豊市大会議室において、三豊市と香川高専の連携協力推進会議を開催しました。

最初に平成23年度に行われた三豊市との連携協力事業（1.理科離れ対策 2.地域活動への参加 3.高齢者対策 4.産業振興支援・業務支援）について、充実した事業を展開し、着実な成果をあげていることが香川高専より報告されました。

次に平成24年度の事業計画を発表し事業計画に対して、三豊市から非常に有意義な内容であり、推進してほしいとの発言があり、三豊市との連携協力事業を、より一層推進していくことを確認しました。

日 時 平成24年5月15日（火）13:30～15:00

出席者 三豊市：横山市長、小野政策部長、真鍋秘書課長外

本 校：嘉門校長、田嶋副校長、橋本副校長、三崎センター長、岩田センター長外

議 題 （1）平成23年度事業報告について

（2）平成24年度事業計画（案）について

② 香川銀行・香川高専連携協力協議会

7月3日（火）、香川銀行本店会議室で平成24年度香川銀行・香川高専連携協力協議会を開催しました。会議では、平成24年度活動方針や新たな取組について、活発な意見交換が行われ、具体的な活動実施に向けて担当者間で検討を進めることを確認しました。

日 時 平成24年7月3日（水）13:30～15:00

出席者 香川銀行：本田専務取締役、白薊営業店統括部部長、高橋営業店統括部部長代理外

本 校：嘉門校長、田嶋副校長、橋本副校長、三崎センター長、岩田センター長外

議 題 （1）香川銀行平成23年度活動報告について

（2）香川高専平成23年度活動報告について

（3）香川銀行平成24年度活動方針について

（4）香川高専平成24年度産学官連携活動方針について



図1 三豊市との連携協力推進会議



図2 香川銀行との連携協力協議会

1.4.3 香川県との連携事業で特許出願

香川県と香川高専は包括連携・協力に関する協定を結んでいます。この取組みの一環として、学生のユニークで独創的な発想を活かした創造的地域貢献活動で香川県の産業に貢献することを目的として、香川県農業試験場府中果樹研究所と協力し、香川県の特産物であるキウイの生産性向上、特に世界的にも価値の高いキウイ花粉の効率的な採集方法について、道具や機械の面から検討し開発を行い、試作・実用化を目指しました。

まずは、ものづくりに関心の高い学生とともに農業試験場府中果樹研究所を訪問して、現状の問題点や、課題について詳しく話を伺いました。さらに、キウイ畑に入って、つぼみの開花状況や作業環境などを調査しました。キウイの開花期のうち花粉採取に適した期間が短いため、直後から、構想を練り、試作を繰り返し、試作は5種に及びました。これらの試作した道具を果樹研究所に持ち込んで操作性や作業効率を実際の作業で検証し、改良を繰り返しました。この結果、キウイ農家で花粉採取に使用する「装着式つぼみ採取器」を、満足できるレベルに完成することができました。



図1 開花状況や作業環境などの調査

しかし、すぐには製品化の実現は困難なため、特許庁や(独)工業所有権情報・研修館などが毎年開催して、学生のアイデアを競う「平成24年度 パテントコンテスト」に応募しました。

結果、「パテントコンテスト」において、全国428件(高専部門99件)の応募の中から19件(本校を含めて高専部門5件)が、特許出願支援対象者として選拔されました。表彰式は、1月28日(月)、品川プリンスホテルプリンスホール(東京)において行われ、本校機械電子工学科3年の綾田直人君と建設環境工学科3年の増尾敬君の2名が「装着式つぼみ採取器」について特許出願支援対象者として表彰され、特許出願を行いました。今後は、この成果をもとに、実用化製品化を目指して、PR等に取り組んでゆく計画です。



図1 表彰式



図2 毛利さんと

1.4.4 「徳島・香川トモニ市場二周年記念マルシェ」三豊市物産PRに協力

10月27日(土)・28日(日)午前11時～午後5時にJR有楽町駅前東京交通会館前1階ビロティにおいて行われた「徳島・香川トモニ市場二周年記念マルシェ」においてお茶サービスロボット「みっちゃん」が三豊市高瀬町のおいしい冷茶をお接待し三豊市のPRを行いました。

両日ともあいにくの天候で気温も低かったのですが冷茶のサービスに今年は自動コップサービスの機能がついたこともあり、通りかかった多くの人に驚きと関心をもって迎えられました。

また同時に、三豊市の観光地や特産品紹介も行え、三豊市のPRを行うことができました。みらい技術共同教育センターでは今後とも地域に密着した活動を推進したいと考えています。



図1 徳島・香川トモニ市場二周年記念マルシェ

1.4.5 「みとよのがんばる企業による企業説明会」で学生がシーズ発表

2月23日(土)10時より、三豊市文化会館マリンウェーブにて、三豊市中小企業振興協議会主催の「みとよのがんばる企業による企業説明会」が開催されました。

託問キャンパスはロボコン、プロコン、動く八朔人形、放射線について、企業との共同研究の成果など学生によるシーズ発表を行いました。

会場を訪れたたくさんの方が興味を持って下さり、学生に質問をしたり、操作を体験しました。

また、企業説明に訪れていた三豊市内の企業の方とも積極的なコミュニケーションを図る事ができ、今後の活動や共同研究につながる事が期待できます。



図1 プロコン



図2 シーズ発表

1.5 国際交流

1.5.1 クライストチャーチポリテク工科大学と包括的学術交流協定を締結

6月18日（月）、香川高専はニュージーランドのクライストチャーチポリテク工科大学（CPIT）と包括的学術交流協定を締結しました。この協定には、教員・学生の相互交流、共同研究、共同出版、セミナーやワークショップの開催、学術的資料やその他の情報交換及び特設の短期学術プログラムに関する内容が盛り込まれています。協定式では、CPITのKay Giles学長と本校の嘉門雅史校長による各学校紹介と協定書への署名が行われました。CPITにおける英語教育の実際と施設の詳細な紹介が行われた他、エンジニアリング教育に携わっている教員らと交え、今後の学術交流及び学生交流の進め方についての協議が行われました。本協定の締結により、両校は英語教育を軸とした交流また技術者教育および研究面での交流を活性化させ、両校の教育・研究の国際性向上を図る予定です。



図1 締結式での記念撮影



図2 研究紹介

1.5.2 東洋未来大学との学術交流協定に伴う国際交流事業を実施

10月8日（月）から12日（金）にかけて本校の教員3名、専攻科生6名が韓国の東洋未来大学を訪問し、KINTEX（韓国国際展示場）で開催された Korea Electronics Show（韓国電子展）2012に参加しました。これは、東洋未来大学と香川高専が取り交わしている学術交流協定に基づき相互に交流を継続しているものです。今年は7年目にあたり、本校が韓国を訪問しました。韓国電子展では、東洋未来大学のブースの一角に設けられた香川高専用ブースで、専攻科生の研究成果を展示し、来訪者に対して英語によるポスタープレゼンテーションを行いました。開催日初日のオープニングセレモニーに引き続き、東洋未来大学の学長らによる見学も行われました。また、ソウル市内にある東洋未来大学を訪問し、学内施設や授業風景等の見学を行いました。今回の訪問を通じて、両校の学術交流を推進するとともに教員及び学生の交流や文化に対する相互の理解が深められました。



図1 本校教員も参加したテープカット



図2 学長への研究成果説明

1.5.3 ダナン工科大学と包括的学術交流協定調印式を挙

3月25日、ベトナムのダナン工科大学(Danang University of Technology)において同校との包括的学術交流協定(MOU)の調印式を挙りました。本校は、2009年に前身の高松高専とダナン工科大学の間でMOUを締結していましたが、香川高専として改めてMOUを締結したものです。調印式では本校の嘉門校長とLe Kim Hung ダナン工科大学長が署名を交わしました。今後の教員・学生の交流及び共同研究の推進に向けて、ダナン工科大学から国際交流担当のLe Thi Kim Oanh 副学長はじめ学科長や研究リーダー10名が、本校から国際交流室の小竹室長・太良尾室長補佐・中山室員の3名が参加して活発な議論が行われました。また調印式後、ダナン大学(The University of Danang)のTran Van Nam 学長(前ダナン工科大学長)を訪問しMOUの更新を報告しました。



図1 調印式における学校紹介



図2 調印式での記念撮影

1.5.4 マレーシアのマラ工科大学にて建設環境に関する国際シンポジウムを開催

3月19日、国際学術交流協定校であるマラ工科大学(マレーシア)において、本校と共催でMALAYSIA-JAPAN CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENGINEERING SYMPOSIUM 2013(建設環境に関する国際シンポジウム)を開催し、本校からは教員2名と専攻科学生2名が参加・発表を行いました。

教員は建設環境工学科の小竹望教授、多川正准教授が地盤や水環境に関する研究内容の基調講演を行いました。シンポジウムではポスター発表が開催され、創造工学専攻建設環境工学コース1年の嶋克久良君が低コスト水処理装置の開発、宮脇史恭君が繊維補強された固化処理土の補強のメカニズムの解析に関する特別研究の成果をそれぞれ発表し、関心の高い研究テーマのため参加者との活発な質疑応答が繰り広げられました。2人の研究内容やポスターの完成度、発表対応はシンポジウム参加者の投票の結果、優れた発表としてStudent Poster Awardを受賞しました。また、翌日は同大学の国際交流室を訪問し、今後の香川高専との国際交流活動内容についてディスカッションを行いました。



図1 小竹教授の基調講演



図2 国際交流室訪問

1.5.5 マラ工科大学の電子デバイス分野と研究交流を実施

3月19日から21日にかけて、本校と学術交流協定を締結しているマレーシアのマラ工科大学(UiTM: Universiti Teknologi Mara)と電子デバイス分野の研究交流を行いました。本校から電子システム工学科・国際交流副室長の長岡史郎教授、情報工学科鈴木浩司の助教及び専攻科電子情報通信工学専攻1年の瀧本晴加さんの3名が、Prof. Dr. Mohamad Rusop Bin Haji Mahmoodが統括する2つのデバイス関連研究施設を訪問して研究成果の紹介を受けました。その後、同教授が担当する半導体と Uzer Mohd Noor 学科長が担当する光エレクトロニクスの講義において、本校からの参加者がそれぞれ研究成果発表を行いました。また、本校から持参したデバイスサンプルを題材にして、マラ工科大学の大学院生と持参したサンプルの評価方法に関する議論や意見交換などを活発に行いました。最後に、本校国際交流室長の小竹望教授も合流し、電気工学部長を表敬訪問しました。旧交を温めるとともに学術面での交流推進や国際シンポジウムの企画を議論することができ、大変充実した研究交流となりました。



図1 サンプル評価実験風景



図2 講義終了後の集合写真

1.5.6 台湾の正修科技大学と機械工学分野の研究交流ワークショップを開催

3月26日から30日にかけて、台湾の高雄に於いて国際学術交流協定校である正修科技大学と本校が共催で機械工学に関する国際研究交流ワークショップを開催し、本校からは教員2名と専攻科へ進学予定の本科学生3名が参加しました。3月27日には学会形式の研究発表交流会を開催し、本校機械工学科からは福井智史教授と伊藤勉講師、正修科技大学からは Ah-Der Lin 教授、Jen-Chou Hsiung 助理教授が研究シーズ紹介を行うとともに、本校機械工学科5年生の河合拓也君、多田雷泰君、田村拓也君の3名がそれぞれ機械材料に関する口頭研究発表を行いました。3月28日から30日にかけては、機械部品の強度解析に関する講習を香川高専学生と正修科技大学の学生が合同で受講するとともに、国際的に展開する機械系企業2社を見学し、学生は国際的見地を深めました。



図1 国際研究交流ワークショップ



図2 企業見学

1.6 その他

1.6.1 平成24年度香川高等専門学校入学式を挙

4月6日（金）丸亀市内の綾歌総合文化会館アイレックス大ホールにおいて、香川高等専門学校の第3回入学式を挙りました。入学式では、本科生287名、編入学生2名、留学生3名及び専攻科生43名の計335名の名前が一人ずつ読み上げられ、嘉門校長から入学が許可されました。嘉門校長から「工学基礎をしっかりと身につけて、将来の科学技術を支えるエンジニアとしての実力を獲得してください。」との式辞が述べられた後、三豊市長横山忠始様から祝辞を賜り、その後、本科入学生代表、専攻科入学生代表による宣誓があり、最後に校歌斉唱を行いました。式には同窓会会長、後援会会長、名誉教授もご臨席いただき、保護者、教職員とともに新入生の新しい門出を祝いました。



図1 校長式辞



図2 本科生総代答辞

1.6.2 相談員のためのレベルアップ研修を開催

6月8日（金）、学生相談室員・メンタルヘルス相談員を対象として、「相談員の為のレベルアップ研修」を高松キャンパス第二会議室において開催しました。研修では相談を受けた際の初期対応を主題とし、サクセスブレインズ株式会社 カウンセラー 門田聖子氏による講義と演習が行われました。「相談員としての心構え」や「相談時の初期対応」などについての講義や「聞く」と「聴く」の違いについて演習を行い、カウンセリングの基礎知識や実践事例を参加者は熱心に聞き入っていました。



図1 講義と演習

1.6.3 西条市と連携協力に関する協定を締結

7月27日(金)、香川高専は、西条市と連携協力に関する協定を締結しました。この協定により、双方が有する人的・物的資源を活用し、個性豊かな地域社会の形成及び地域課題の解決を図り、西条市における地域社会の進行と発展及び本校における教育・研究を充実していきます。調印式は西条市役所庁舎本館5階大会議室で行われ、西条市からは伊藤宏太郎西条市長、莖田元近市議会議員、藤田義規副市長、大越康史副市長、田中明教育長が出席されました。



図1 調印式

1.6.4 オープンキャンパスを開催

11月3日(土)・4日(日)に学生祭と合わせてオープンキャンパスを開催しました。各学科の紹介コーナーを各自自由に回り、それぞれのコーナーで、教員及び学生の説明を聞いたり、体験をしていただきました。全体コーナーでは、学校説明・個別相談を行い、中学生や保護者の方から多くの入試情報に関する質問がありました。



図1 高松キャンパス



図2 詫間キャンパス

1.6.5 中国・四国地区高等専門学校図書館長会議を開催

11月26日（月），平成24年度中国・四国地区高等専門学校図書館長会議を開催しました。この会議には中国地区8高専と四国地区5高専の図書館長が出席し，高専図書館が抱える様々な問題や利用促進，将来構想等について活発な討議を行い，各校図書館の実情もよく分かり，実り多い会議となりました。



図1 図書館長会議

1.6.6 第3回香川県・香川高専連絡会を開催

2月8日（金）にルポール讃岐において，香川県・香川高専連絡会を開催しました。この連絡会は，香川県と香川高専との間で締結している「包括連携・協力協定」に基づいて定期的に開催しており，連携協力事項について具体的推進方策等を協議するためのものです。当日は，香川県からは羽白政策部次長他11名が出席し，香川高専からは橋本副校長他14名が出席しました。連絡会では，香川県からは香川県産業成長戦略，地域のリーダーとなる人材育成などの紹介，香川高専からは学生の進路状況の紹介また進路についての問題提起などを行い，意見交換を行いました。また，連絡会終了後は会場を替えて懇親会を行い，より深い交歓・交流が行われました。香川県と香川高専は今後も，より一層情報交換を密に連携を深めていくことを確認しました。



図1 香川県・香川高専連絡会

1.6.7 インターンシップ企業合同説明会と企業合同面談会を開催

2月26日（火）・27日（水）本校体育館においてインターンシップ企業合同説明会と企業合同面談会を開催しました。26日に高松キャンパス、27日に詫間キャンパスで開催しました。平成17年度に開催した企業合同面談会は、今年で8回目を迎えます。県内外から高松キャンパスには89社、詫間キャンパスには70社の企業にお越し頂くことができ、まだまだ冬空であるにも関わらず体育館は熱気を帯び、暑さを感じました。参加した4年生と専攻科1年生は、ブースの空きを狙って次々に真剣な面持ちで訪問していました。インターンシップ企業合同説明会は、平成21年度に初めて開催し、本校、香川高専産業技術振興会、香川県の3者が主催しています。主として3年生を対象として半年後の4年次の夏季休暇を利用した企業研修のための情報収集を目的としています。香川県の県内企業で構成される香川高専産業技術振興会会員企業様にご協力を頂きました。



図1 高松キャンパス



図2 詫間キャンパス

1.6.8 外部評価委員会を開催

2月13日（水）に外部評価委員会を開催しました。委員会には市長、大学学部長、教育委員会教育次長、地元企業重役や公益法人や団体の役員、同窓会組織会長ら、県の内外から外部有識者11名の出席を賜り、学校からは、嘉門校長をはじめ副校長、主事及び学科長ら25名余りが参集しました。本年度の委員会では、重要議案に特化した実質化のため「委員提言に対する対応と年度計画の進捗状況」及び「将来構想計画案の策定状況」に議題を絞りました。本校からの説明後、一時間余りをかけた熱い討論が交わされ、委員からは、少子化を見据えた学校の取組みについて、貴重な提案ないし助言及び期待が、数多く寄せられました。学校では、今回の委員会の活発な議論を今後の学校運営と将来構想に積極的に反映させていくことにしています。



図1 外部評価委員会

1.6.9 平成24年度香川高等専門学校卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を 挙

3月13日、14日に第4回卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を挙りました。高松キャンパスでは、13日に本校高松キャンパスの第一体育館において挙し、嘉門校長から、高松キャンパスの卒業生131名に卒業証書が授与され、続いて、専攻科修了生32名に修了証書が授与されました。詫間キャンパスでは、14日に三豊市詫間町のマリンウェーブにおいて挙し、嘉門校長から、詫間キャンパスの卒業生129名に卒業証書が授与され、続いて、専攻科修了生19名に修了証書が授与されました。両日の式には、嘉門校長の式辞の後、高松キャンパスでは高松工業会(同窓会)会長 住田博幸様、詫間キャンパスでは三豊市長 横山忠始様から祝辞を賜り、その後、在校生代表による送辞と、本科卒業生代表、専攻科修了生代表による答辞があり、最後に校歌斉唱が行われました。来賓として、外部評価委員会委員、産業技術振興会会長、後援会会長等、名誉教授もご臨席いただき、保護者、教職員とともに卒業生及び専攻科修了生の学舎からの旅立ちを祝いました。



図1 式典